

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2丁目1-1
広島工業大学 工学部 環境土木工学科 風早悟史研究室内
会長室：〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52番1号
静岡県立大学 国際関係学部 国際言語文化学科 澤田敬人研究室内
学会HP：http://www.hikakubunka.jp/

《会長 巻頭言》

日本比較文化学会会長 澤田 敬人

令和6年5月18日の総会において会長に選任されました澤田敬人です。2年間よろしくお願ひいたします。

日本比較文化学会は、学術的な活動を通じて比較文化に関する研究分野の発展に寄与しています。比較文化を研究する国内で最大規模の学会であります。人文学・社会科学の研究領域のうち比較文化に焦点を置く分野を基盤とするため幅が広く、真理の追究により奥行きがあります。比較文化を共通項にした様々な分野の研究者が集う学会であることが本学会の強みであり、参加を楽しむ理由になります。これを維持し、発展させることが大事だと考えます。

本学会では7つの支部による活動が年間通じて活発に行われ、列島を縦断する学会の地域性に特長があります。支部活動の自律性を会則で保証し、支部のローテーションによる全国大会・国際学術大会の開催と支部に学会誌『比較文化研究』の編集室を置く体制は、本学会ならではの方法として維持し、さらなる発展を目指します。

本学会では編集委員会による査読体制が整備されています。併せて授賞に値する論文を推薦する制度も機能しています。学位を大学院に請求する際、査読付き学術誌への掲載が求められる場合に『比較文化研究』の掲載論文は、発表媒体として問題なく認められるとの情報を得ました。草創期より若手研究者の育成を心がけてきた本学会としては、学位請求に関するアカデミズムの水準を確認しつつ、さらなる水準の向上を期しています。

国境を越えた発展のために海外の姉妹学会との交流が不可欠です。台湾と韓国の姉妹学会との交流は、本学会の活動と海外の研究者の活動を共有する大事な機会です。姉妹学会の会員を本学会の国際学術大会のシンポジウムに招待するほか、本学会会員が姉妹学会での研究発表や投稿の手続きをしやすくするために、ホームページ上で行事を告知する取り組みを続けます。

また、学問の健全な発展のために、国籍、性別、キャリアパスの多様性の向上を促します。本学会には健全さの阻害となるハラスメントの防止に関する規程を整備しており、規程の通りに機動的に動くことができるのか会長就任時に点検しました。健全な発展を促すためのルールとその常なる点検によって、多様性の増進につながるものと考えます。

本学会の維持と発展に取り組みますので、会員の皆様にはお力添えいただきたくお願ひ申し上げます。

《日本比較文化学会第 47 回全国大会・2025 年度国際学術大会開催のお知らせ》

中国・四国支部・大会実行委員長 轟木 靖子 (香川大学)

来る 2025 年 5 月 17 日 (土) (予定)、日本比較文化学会第 47 回大会が香川大学で開催されます。初めての香川での開催となります。名物のうどんはもちろん、瀬戸内国際芸術祭の数々の作品にも触れていただく機会となれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

発表募集につきましては 2024 年 12 月 (締め切り 1 月末の予定) のご案内となります。学会ホームページに掲載いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

テーマ：比較文化の地域性と新たな視点の創造

《大会報告：日本比較文化学会第 46 回全国大会・2024 年度国際学術大会》

大会準備委員長・中部支部長 樋口 謙一郎 (椋山女学園大学)

日本比較文化学会第 46 回全国大会・2024 年度国際学術大会は 2024 年 5 月 18 日、愛知県名古屋市の椋山女学園大学星が丘キャンパスで開催されました。当日の参加者は約 80 名で、大会テーマ「比較文化と情報社会:AI 時代の到来を踏まえて」のもとで基調講演とシンポジウム、そして一般研究発表が行われました。

基調講演は、会場校・椋山女学園大学の向直人教授が「ChatGPT のペルソナを利用した比較文化の可能性と課題」と題して、人間的な理解と感情の深さを重視する比較文化研究への AI の応用について提言されました。また、シンポジウムは 4 人のパネリストの皆様から、それぞれの研究の御立場に基づく発題をいただきました。一般研究発表は 31 組 (うちオンライン発表 3 組) で、さまざまな分野・領域による興味深い発表が行われました。大会終了後には会場近くのカフェ「トド」のご協力を得て、懇親会を開催いたしました。また、前日には名古屋駅近くのイオン会議室で理事会を開催し、その後、海外提携学会の皆様をお迎えして懇親会を催しました。

会場校世話人の至らなさにもかかわらず、大きな問題もなく無事に終えることができましたが、これもひとえに御指導くださった会長、事務局長ならびに役員の皆様、献身的にサポートしてくださった中部支部の皆様、そして最後まで温かな雰囲気で大会を盛り上げてくださった参加者の皆様のおかげです。厚く御礼申し上げます。

《副会長就任の挨拶》

副会長 (会務・国際交流担当) 山内 信幸

このたび、2024 年 5 月に椋山女学院大学で開催されました第 46 回日本比較文化学会全国大会理事会ならびに総会におきまして、澤田敬人新会長より副会長 (会務・国際交流担当) の指名を受けました。自身の会長時代をはさんで、歴代の会長先生 (太田敬雄先生・奥村訓代先生・八尋春海先生) にお仕えしてきましたが、このたび、4 度目の再登板となりました。当方がかかわってきた韓国と台湾の姉妹学会との国際交流について、次世代への橋渡しを念頭に置きながら、われわれの世代でできることに最大限の努力を継続していきたいと考えております。会員の皆様方には、学会発表や論文投稿に際しても、姉妹学会としてのメリットを活かしていただければと願っています。澤田会長体制では、多くの若い理事の先生方にも参画いただいております。会員の皆様同士の交流がさらに活発化することを目指し、微力ながら、注力していく所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。

副会長 (研究・教育担当) 伊藤 豊

この度、副会長 (研究・教育担当) 職を拝命いたしました。私の会員歴は 20 年余りで、これまで本会を通じて多くの人々と新たに出会い、また種々の貴重な経験を積むことができました。本会の特色の一つとして、高い学際性のもとに分野を異にする研究者が集い、自由で闊達な研究活動を展開していることが挙げられるでしょう。私自身、上記の長所を十分に享受しながら現在に至ったわけですので、このこと、心より有り

難しく感じます。今後の学会運営においても、この善き伝統を未来へとしっかりと保守していくことを、まずは己の使命としたいと思えます。とはいえ、正直なところ「副会長？ん、マジで私でいいんですか？？」といった心持が、今でも続いています……まあそれはそれとして、澤田会長や山内副会長そして理事の先生方のご指導を仰ぎつつ、与えられた職責を全うするよう、微力ながら鋭意取り組む所存です。会員の皆様、何卒よろしくお願い申し上げます。

《編集委員会報告》

編集委員長 中村 友紀

編集委員会からのご報告は下記3点です。(1) 日本比較文化学会奨励賞の選考基準となる申し合わせが改定されました(2024年3月29日理事会承認)。2024年度の奨励賞選考は、この新申し合わせに基づいて行われました。また、学会ウェブサイトにて、申し合わせの公開とともに奨励賞のページもリニューアルされました。(2) 2024年度日本比較文化学会奨励賞は、残念ながら該当なしとなりました。来年度は秀逸な論文を学会として顕彰できますことを期待しております。(3) 中部支部編集委員は、樋口謙一郎先生から二村洋輔先生に交代となりました。樋口先生にはこれまでありがとうございました。

《総会報告》

前事務局長 林 裕二

2024年5月18日(土)に椋山女学園大学(星が丘キャンパス)にて開催した日本比較文化学会総会の議事録を以下に報告します。

*【報告】

1. 会員の動向：全会員数(2024年5月1日現在) 576名
2. 英語表示を含めてHPを日英バイリンガル化する件の進捗状況について：複数年を必要とする見込み
3. 編集委員会：2024年度奨励賞については該当者なし

*【議事】

1. 会則の変更の件：第4条(会員構成)についての項の改定：承認

【改定前】：

本会の会員は、一般会員(学生会員を含む。)及び賛助会員からなるものとする。(中略)賛助会員は、本会の趣旨に賛同し、本会のために財政的援助を与える個人・団体等で、所定の手続きを経て、本会に登録された者とする。

【改定後】：下線部が変更箇所

本会の会員は、一般会員(学生会員を含む。)、賛助会員及び終身会員からなるものとする。(中略)賛助会員は、本会の趣旨に賛同し、本会のために財政的援助を与える個人・団体等で、所定の手続きを経て、本会に登録された者とする。終身会員は、65歳以上で会員期間が10年以上あり、終身会費3万円を支払う者とする。

2. 会則の変更の件：第4条(会員構成)についての項の改定：承認

【改定前】：

3. 賛助会員は、本会の趣旨に賛同し、本会のために財政的援助を与える個人・団体等で、所定の手続きを経て、本会に登録された者とする。

【改定後】：下線部が変更箇所

3. 賛助会員は、本会の趣旨に賛同し、本会のために財政的援助を与える個人・団体等で、所定の手続きを経て、本会に登録された者とする。

4. 学生会員は、学部に在籍する者とする。

3. 第47回全国大会・2025年度国際学術大会開催の件：承認

1. 日程 2025(令和7)年 5月17日(土)

2. 会場校 香川大学教育学部（幸町北キャンパス）香川県高松市幸町1-1
3. 運営委員長 轟木靖子
 - ・シンポジウムのテーマ：比較文化の地域性と新たな視点の創造
 - ・今後の全国大会主催支部のローテーションについて：
 - 中国・四国（2025）→関西（2026）→九州（2027）→関東（2028）→東北（2029）→北海道（2030）
4. 2023 年度会計決算の件：承認
5. 2024 年度会計予算の件：承認
6. 会長選出の件：理事会で会長候補者として澤田敬人先生が選出されたことが報告され、承認
7. 新理事・新役員選出の件：新理事会での承認を経て、一部修正の上、承認
 - *2023 年度決算・2024 年度予算報告は巻末（p. 8）に掲載しております。

《支部報告》

北海道支部

* **【お知らせ】** 日本ことわざ文化学会総会／大会（共催事業）

北海道支部は、「日本ことわざ文化学会」と2024年度日本ことわざ文化学会総会／大会を、北海道苫小牧市の北洋大学にて共催することになりました。

日時：2024年10月5日（土）

場所：北洋大学（北海道苫小牧市錦西町3丁目2番1号）

プログラム

- ・総会 11:00~12:00
 - ・大会 13:00~
1. 開会挨拶：渡辺 慎介会長 進行：清水 泰生（同志社大学）
 2. ことわざ講座「ことわざの現在性を探る」
 - (1) 奥村 訓代（北洋大学学長）「チャット GPT との『ことわざ』談議」13:05~13:35
 - (2) 山口 政信（明治大学名誉教授）「ことわざのコトとワザー創作ことわざの技法ともじりの笑ひー」13:40~14:30
 - (3) 質疑応答／意見交換 14:35~14:55 以上 進行：清水 泰生（同志社大学）
 3. 研究発表2題（発表20分+質疑応答10分）座長：藤城 孝輔（岡山理科大学）
 - (1) 大野 建（北海道大学大学院）「村上春樹文学の比喩とことわざ」15:00~15:30
 - (2) 渡辺 慎介（横浜国立大学名誉教授 本学会会長）「江戸っ子の使ったことわざ②ー円朝の古典落語からー」15:35~16:05
 3. 閉会のことば：中尾 暢見（日本大学）16:10
- * **【お知らせ】** 北海道支部研究発表会・シンポジウム
- 日時：2024年11月30日（土）13:00~17:00
- 場所：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟1階
（北海道札幌市北区北10条西7丁目）
- 発表主題・テーマ：主として外国語教育（日本語教育を含む）に関するテーマ・内容
発表会プログラムは未定です。プログラムが決まり次第学会 HP でお知らせいたします。
- * **【お知らせ】** 東北・北海道合同支部総会・大会
- 日時：2025年3月14日（金） 午前：支部総会 午後：支部大会
- その他の事項は未定です。詳細が決まり次第学会 HP でお知らせいたします。

支部長 奥村 訓代

東北支部

*【報告】東北支部研究大会

日本比較文化学会東北支部の研究大会が盛大に開催されました。多くの研究者が集まり、さまざまなテーマに基づいた研究発表が行われました。発表の中では、活発な議論が交わされ、参加者同士の意見交換が進みました。閉会後には、懇親会が開かれ、参加者は和やかな雰囲気の中で交流を深めました。非常に有意義な時間であり、今後の研究活動に向けて新たな刺激を得ることができました。

日時：2024年9月13日（金）

場所：戦災復興記念館4階・第3会議室（仙台市）

プログラム

1. 研究発表

司会：佐藤和博（元弘前学院大学教授）

(1) 河内 健志（前橋工科大学）・斎藤 隆枝（帝京大学）「日本語力と英語力の相関について—予備調査より—」

(2) 高橋 栄作（高崎経済大学）「AI 補助の英語会話とメタバース内での英語講師とのロールプレイ」

司会：熊谷摩耶（東北福祉大学准教授）

(3) 魯 静涵（山口大学大学院）オンライン発表「『華音啓蒙諺解』の漢語音における濃音表記ㄥ sg-

ㄨ ss-の考察」

(4) 石井 智子（鶴岡工業高等専門学校）「新渡戸稲造夫妻創設にかかる遠友夜学校をめぐる一論争について」

司会：伊藤豊（山形大学教授）

(5) 山本 博一（跡見学園女子大学）「身体表現についての一考察（2）—遠隔操作ロボットの操作者となる障害者人口—」

(6) 野口 周一（郡山女子大学）「福島県立修練農場初代教務主任大河平聖雄の教育理念とその相剋」

*【お知らせ】

令和7年3月に東北支部総会・研究大会を開催予定です。詳細については、後日学会 Web をご確認ください。

支部長 高橋 栄作

関東支部

*【お知らせ】2024年度第1回支部例会・臨時総会

日時：2024年10月12日（土）13:00~18:00

場所：東京未来大学 堀切キャンパス・C332/C333 教室

支部長代理 郭 潔蓉

中部支部

*【報告】日本比較文化学会中部支部第14回支部大会

日時：2024年9月29日（日）

場所：相山女学園大学 星が丘キャンパス

下記の通り開催いたしました。御参加、御協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます

プログラム

1. 開会の挨拶（中部支部長 樋口 謙一郎） 13:00~13:10

2. 基調講演 13:15~14:15

澤田 敬人（静岡県立大学・日本比較文化学会会長）

「比較文化の好機：アフターコロナ時代のアフターカルチュラルスタディーズを踏まえて」

3. 自由研究発表 14:30~17:15

- (1) 川口 泉 (九州大学大学院) 「日本語学校における初任日本語教師の困難感に関する研究」
- (2) 杉本 貴代 (愛知大学短期大学部) 「日米の高等教育段階における海外留学の機会と実際」
- (3) 二村 洋輔 (至学館大学) 「井伏鱒二の「花の町」における現地人表象について」
- (4) 大崎 洋 (愛知大学総合郷土研究所) 「幸福論からみる渡辺崋山」
- (5) 樋口 謙一郎 (相山女学園大学) 「タイダム族研究の示唆と展望」

* 【お知らせ】

・2024 年度中部支部例会・総会は、2025 年 3 月に北陸地域で開催する方向で構想しています。併せてワールドトリップも実施できればと思います。中部支部の皆様はもちろん、他支部の皆様もぜひご参加ください。

・今後のお知らせなどはウェブサイトで告知しますので、そちらをご確認ください。

支部長 樋口 謙一郎

関西支部

* 【お知らせ】 日本比較文化学会関西支部 10 月例会

日時：2024 年 3 月 9 日 (土) 13:00~17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス 弘風館 41 番教室・49 番教室

プログラム

1. 研究発表 (13:30~15:10)

(弘風館 41 番教室)

- (1) 榎木 幹人 (東北大学大学院) 「時空間メタファー動詞の類型論—英語と中国語を中心に—」
- (2) 佐古 恵里香 (流通科学大学) ・山内 信幸 (同志社大学) 「第 2 言語習得における interprototype 仮説—心に固定化するイメージの諸相に着目して—」
- (3) 橋尾 晋平 (名古屋外国語大学) 「『意味順』を用いた日本人中級英語学習者のリーディング授業の実践報告」

(弘風館 49 番教室)

- (1) 史 蕊 (広島大学大学院) 「中国における太宰治文学紹介の萌芽期に関する研究—1940 年代に現れた太宰治文学の中国語翻訳作品への考察を通して—」
- (2) 早川 有香 (京都橘大学) 「統合ステークホルダーシップ・モデル：ステークホルダーの高い関与を実現するガバナンスの形態として」

2. 講演 (15:25~16:55) (弘風館 41 番教室)

- (1) 小林 裕子先生 (京都橘大学教授) 「ほとけを『うつす』」
- (2) 曾 秋桂先生 (台湾淡江大学教授・台湾日本語教育学会理事長・淡江大学村上春樹研究センター長) 「DX 時代における日本語教育現場の課題—生成 AI の ChatGPT とメタバースの利活用を例に—」

3. 閉会 (16:55~17:00) (弘風館 41 番教室)

山内 信幸 (日本比較文化学会関西支部長)

* 【お知らせ】 関西支部 10 月例会

日時：2024 年 10 月 12 日 (土)

会場：同志社大学今出川キャンパス

支部長 山内 信幸

中国・四国支部

* 【報告】 2024 年度中国・四国支部研究発表会

日時：2024年7月27日(土) 13:00-17:30

開催形態：オンライン

プログラム

1. 研究発表

- (1) ウン・テワンダ (大阪大学大学院) 「日本語とカンボジア語の授受表現の視点制約に関する対照研究」
- (2) 閻 正昊 (広島大学大学院) 「『満洲』文学の抵抗と植民地責任が中国でどう解剖されるかー現代中国の『満洲』文学論に関する一考察ー」
- (3) 龐 朝霞 (奈良女子大学大学院博士後期課程「日中両国の地域コミュニティ防災の機能上の比較」
- (4) 星野 凜 (徳島大学大学院) 「『パンの会』は失敗だったのか?ー文芸運動に見るコミュニティの「一過性」と「持続性」ー」
- (5) 馬 超 (大阪大学大学院) 「番外謡曲「介子推」の人物像に関する一考察ー和漢比較の視点からー」
- (6) 公文 素子 (高知大学) 「日本語指導者講座(実践編)の取り組みー新人日本語教師と社会人を対象にしてー」
- (7) 奥村 訓代 (北洋大学) 「今後増える可能性の多い3年次編入生の諸問題」
- (8) 上杉 裕子 (叡啓大学) 「Sylvia Plath と Virginia Woolf の比較文学研究ー異文化の観点からジェンダー問題を読み解くー」

* 【お知らせ】 関西・九州・中国四国三支部合同研究発表会

日時：2024年12月8日(日) 13:00～

場所：香川大学教育学部(香川県高松市幸町1-1) 詳しくは学会HPをご覧ください。

支部長 轟木 靖子

九州支部

* 【お知らせ】 第37回九州支部大会

日時：2025年2月15日(土)13:00~17:30

場所：SAWARAPIA 旧ももちパレス(福岡市早良区)

大会参加費：2,000円・発表申込：2025年1月15日までに九州支部の八尋(yahiro [アットマーク] seinan-jo.ac.jp) まで氏名、所属、発表タイトル、10行程度の発表概要を記載して下さい。

* パワーポイントでご発表の方はパソコンをご持参ください。

支部長 八尋 春海

《事務局からのお知らせ》

事務局長 風早 悟史

本年5月18日に開催されました第46回日本比較文化学会総会において、新たに事務局長をつとめさせていただくことになりました風早と申します。会員の皆様にはすでに会の運営にあたって多大なご協力をいただいております。この場を借りて感謝申し上げます。歴代の事務局長の先生方が築いて下さった円滑な運営システムを継承するとともに、学会のますますの発展に寄与できるよう精一杯努めてまいります。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

○会員情報更新のお願い：住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越しの際には、忘れずに会員調査書(=入会申込書)に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

《日本比較文化学会ウェブサイト 入会・会員情報変更》https://hikakubunka.jp/?page_id=97

《入会申込書・会員調査書送付先》

あゆみコーポレーション(業務委託先) hikakubunka [アットマーク] a-youme.jp

○会費納入のお願い：会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納（学生会員については1年以上）の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。

〈会費振込情報〉 郵便振替口座：02570-6-8921

加入者名：日本比較文化学会

振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。

《2023年度決算・2024年度予算報告》

2023年度日本比較文化学会 決算			2024年度日本比較文化学会 予算		
科 目	2023年度予算	2023年度決算	科 目	2024年度予算	
I 収入の部			I 収入の部		
1、資産運用収入			1、資産運用収入		
利子	160	13	利子	160	
2、会費収入			2、会費収入		
一般会員	2,860,000	2,633,000	一般会員	2,810,000	
賛助会員	30,000	30,000	賛助会員	30,000	
3、事業収入			3、事業収入		
『比較文化研究』配布収	6,000	10,370	『比較文化研究』配布収	6,000	
4、寄付収入			4、寄付収入		
寄付収入	0	0	寄付収入	0	
5、その他	0	0	5、その他	0	
当期収入合計(A)	2,896,160	2,673,383	当期収入合計(A)	2,846,160	
II 支出の部			II 支出の部		
1、大会開催関連費			1、大会開催関連費		
第45回大会費	350,000	350,000	第46回大会費	350,000	
2、支部運営補助費			2、支部運営補助費		
支部運営補助費	70,000	70,000	支部運営補助費	70,000	
3、『研究』発行費			3、『研究』発行費		
編集補助費	520,000	651,170	編集補助費	655,000	
発送費	800,000	730,995	発送費	800,000	
4、会員活動補助費			4、会員活動補助費		
若手研究者海外渡航費補助	150,000	0	若手研究者海外渡航費補助	150,000	
5、提携学会交流費	100,000	82,832	5、提携学会交流費	100,000	
6、管理費			6、管理費		
事務局費	35,000	13,970	事務局費	20,000	
交通費	100,000	0	交通費	50,000	
通信費	10,000	3,806	通信費	4,000	
業務委託費	420,000	368,728	業務委託費	420,000	
会議費	150,000	11,750	会議費	12,000	
印刷費	50,000	0	印刷費	5,000	
HP管理維持費	50,000	51,260	HP管理維持費	52,000	
『会報』編集補助	27,000	27,200	『会報』編集補助	27,000	
手数料(振込み等)	38,000	56,143	手数料(振込み等)	56,000	
7、予備費	100,000	191,000	7、予備費	200,000	
当期支出合計(B)	2,970,000	2,608,854	当期支出合計(B)	2,971,000	
当期収支差額(A)-(B)	-73,840	64,529	当期収支差額(A)-(B)	-124,840	
前期繰越額(C)	7,083,458	7,083,458	前期繰越額(C)	7,147,987	
次期繰越額(A)-(B)+(C)	7,009,618	7,147,987	次期繰越額(A)-(B)+(C)	7,023,147	